

令和5年度 第5回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和6年3月6日(水) 16:00～17:22

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 8名：笹良剛史(豊見城中央病院)、野里栄治(北部地区医師会病院)、屋良尚美(県立中部病院)、中島信久(琉大病院)、安次富直美(琉大病院)、足立源樹(那覇市立病院)、名嘉眞久美(がん患者会連合会) 増田昌人(琉大病院)

欠席者 5名：中村清哉(琉大病院)、三浦耕子(県立中部病院)、川満博昭(県立宮古病院)、酒井達也(八重山病院)、水嶋美菜子(沖縄県健康長寿課)

陪席者 2名：有賀拓郎(琉大病院)、玉城由奈(琉大病院)

報告事項

1. 令和5年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

資料1に基づき、令和5年度第4回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があり承認された。

2. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会、在宅WG、研修WG 委員名簿

資料2に基づき、各委員の名簿について報告があった。

協議事項

1. 令和6年度 緩和ケア・在宅医療部会 部会長・副部会長の選任について

次年度の部会長は笹良委員、副部会長は野里先生に決定した。

屋良委員より、次年度の副部会長は検討させていただき、お返事したいとあった。

2. 令和6年度 緩和ケア・在宅医療部会 委員の選任について

三浦委員より、次年度は安座間先生が委員になると連絡があったことを事務局より報告があった。

笹良委員より、足立先生が退職すると報告があった。後任として、放射線の事も分かっているので有賀先生がオブザーバーから委員になるのはどうかと、提案があった。

有賀先生より、委員になるのは問題がないが、拠点病院の那覇市立病院が外れることに問題はないかと、質問があった。

足立委員より、緩和ケア部分の施策決定のために放射線科を1人入れようということでしたので、肩書ではなく何をしているかで人選することが大事だと思う、と回答があった。

有賀先生より、それでしたら人選もたくさんあるので、一旦預らせていただき、笹良先生へ連絡をするということでどうですか、との提案に、笹良委員が承諾された。

笹良委員より、次年度は目標設定に向けて精神科の先生を入れることを考えていきたいとあった。

3. 第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会案)における所掌分担について

増田委員より、資料3に基づき、協議会で決定したことの報告があった。緩和ケア・在宅医療部会では、緩和・支持療法分野の緩和ケアと在宅医療、共生分野の自殺対策が分担されているとのことだった。

4. ロジックモデルを用いての次年度の活動計画について

増田委員より、当日資料1に基づき、ご意見を頂戴したいと依頼があったが、時間の都合により、事務局へメールにて皆様のご意見を頂戴することとなった。

5. 所掌分担分野の指標値の確認と評価について

増田委員より、当日資料 2-1 に基づき、2024 年から専門部会は定例会議を 3 月、6 月、9 月 12 月に開催することと、5 月にすべての専門部会を対象に進捗管理のための研修会を土曜日か日曜日のどちらか一日を予定している、と報告があった。また、当日資料 2-2 に基づき、沖縄県、全国値、最良値の説明があり、現段階では、まだすべてのデータが揃っていないが、データが揃った段階で皆さんの実感も含めて評価していくことを今後していただき、ご意見があれば頂戴して、次回 6 月の在宅医療部会で第 1 回目の評価をしていきたい、とあった。

6. 痛みのスクリーニングとモニタリングデータ抽出について

安次富委員より、資料 4 に基づき、今まで 13 項目あったのを 5 項目に減らし、がん、非がんの両方を取ることにしたと説明があった。看護の質を上げるということで看護ケア介入率に重点を置いた内容に変更し、4 月から始めたデータになっている。身体症状つらさの除去率や看護ケア介入率が初めは低い、少しずつ上がってきている。このデータを元に前日、痛みがある患者や困っている患者だけに焦点を絞ってケアを行い、NRS であまり変化がなかった患者をピックアップし、緩和ケアセンターでその患者の辛さや痛みが取れない原因は何なのか、カルテを見て問題がある患者さんへは訪問をしている状況とあった。

有賀先生より、前回(約 2 年前)の報告であまり過剰にしすぎると看護師の業務過多になることや最終的なアウトカムの除痛や介入部分でポジティブな評価がなかったことから、隔日や 3 日でもよいのではと提案したが、看護師の方から毎日やりたいとの事だった。そのため、電子カルテを作り変えて項目を減らし、前日引用が出来るようにした結果、評価日数が減らさずに業務効率化され、改善傾向がある状態とのことだった。

笹良委員より、それが板についた形で、がん、非がんそして痛みだけではなく辛さという発展しながら負担にならず成立するっていうことはすごくいいことをやって頂いているので、モデルとして見習わせてもらいながらできるといいなと思っている。今後も必要に応じて報告していただきたいとあった。

7. 次回令和 6 年度第 1 回緩和ケア・医療部会の日程について

令和 6 年 6 月頃の予定で、事務局にてスケジュール調整することとなった。

8. その他

特になし

報告事項

3. 令和 5 年度 緩和ケア・在宅医療部会 第 3 回、第 4 回在宅ワーキング 議事要旨

資料 5 に基づき、令和 5 年度緩和ケア・在宅医療部会 第 3 回、第 4 回在宅ワーキング議事要旨の報告があった。

4. 令和 5 年度 緩和ケア・在宅医療部会 第 3 回研修ワーキング 議事要旨

資料 6 に基づき、令和 5 年度緩和ケア・在宅医療部会 第 2 回研修ワーキング議事要旨の報告があった。

5. 令和 5 年度 沖縄県緩和ケア研修会開催日程一覧表

時間の都合上、資料 7 は各自で確認することとなった。

6. 令和 5 年度 緩和ケア研修会の報告書について

時間の都合上、資料 8 は各自で確認することとなった。

7. 令和 6 年度 沖縄県緩和ケア研修会開催日程一覧表
時間の都合上、資料 9 は各自で確認することとなった。
8. GRACE 研修会について
時間の都合上、資料 10 は各自で確認することとなった。
9. 日本緩和医療学会 第 5 回および第 6 回九州地区学術大会について
時間の都合上、資料 11 は各自で確認することとなった。
10. その他
特になし

以上